

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	クラフトの里管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線):	572
記入者情報	所属長: 市野 孝敏		担当責任者:	平井 隆雄
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	都市住民			
根拠法令等	伊予市なかやまウッドクラフトセンター条例・そば打ち体験施設条例・木工クラフト体験施設条例			
事業の目的	木材工芸品の展示販売等を通し、都市住民との交流を促進し市の活性化に資する。			
事業の内容	木材工芸品等の展示販売、そば打ち体験施設の設置、木工クラフト製品の展示販売、製作体験。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	観光施設と連携を図りPRIに努めるとともに、そば打ち体験施設等を活用しながら集客力と販売額の向上に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	9,807	11,944	6,380	11,255
	人件費	795	804	201	804
	合計	0	12,748	6,581	12,059
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,954	8,042	4,021	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	795	804	201	804
財源内訳	国庫支出金	0	4,600	99	4,011
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	10,602	8,148	6,482	8,048

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
入込み客数	人	72111	72500	41369	75829
販売額	千円	61953	62000	38828	66202

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	19,103	106,700	56,700	6,688	6,688	195,879

成果指標				
成果指標	入込み客数			
指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基準となる入込み客数とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	60000	72500	75000	75000
実績	72111	75829	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中山スマートインターチェンジの設置に伴い、クラフトの里を道の駅にする計画にしている。実施設計の作成に当たっては、更に入込み客数及び販売額の増加を図る必要がある。指定管理者等と協議を重ね、より良い施設改修を行いたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成31年度を目標に中山スマートインターが設置されることに伴い、クラフトの里が道の駅としての機能を備えるために改修基本計画が作成されたが、産直機能や地域連携機能、休憩機能、情報発信機能等を早急に整備する必要があり、実施設計に向け地域住民等の意見等を参考に適正に設計する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	厳しい財政状況の中での改修事業であり、最小の経費で最大の効果が現れるよう、綿密な協議・調整が必要である。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。